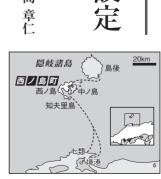
### 地域が一丸となった 「支え愛」 民への商品券配布、 、弁当購入デーの設定



#### 現場の 声を地域経済対策に活か

である。 0) 福井県小浜市・島根県邑南町および西ノ島町 養殖に成功した発祥地であり、 中で島後に次いで二番目、 !かしたまちづくりに取り組 |地域と共同で、 する「にっぽ 大小一八〇余りの隠岐諸 観光業を主な産業としている。 一六キロメートル、 西ノ島町 んAA級 は、 域 面積約五六平方キロメ の豊かな自然とその恵みである食を (永久) 人口約二八〇〇人で、 1、島前三島で最大の語鳥には四つの有人島 んでいる。 グルメのまち連合」として 全国五市町 日本で初めてイワガキ 宮崎県都農町) (北海道鹿部町・ ĺ 漁業 島 がある。 ル が西 で組 畜 周 島 囲 産

ス(以下、 今年一月六日、 コロナ) に関する発表があった。 厚生労働省から初めて新型コロナウイ 同月二八日に日本 ル

お

人の 観光関係者で集まり協議を重ねた。 えない中、 フシーズンであるため、急な打撃はなかったが、 た。この時期の観光業については、 ウイルスに対する不安も大きく、 体制が脆弱な離島の自治体である本町では、 マスクなどの入手が困難になり始 初感染が確認されて以 観光シーズンに向けてどういう準備が必要か、 降、 コロ 連日の報道を注視 がめた。 そもそも海 ナに関する報道 高齢者が多く医療 目に見えない の荒 収束が 心が増え、 元れるオ してい

防止 なっ 内の には来島自 いよいよ観光シーズンに入ろうかという頃、 止を目 島内 的 筆者の所属する観光定住課は、 事業者などの経営は、 | 粛の の約七○店舗の経営状況などの情報を得るため お願 住民には不要不急の往来自 いが町から発信された。これにより島 大きな影響を受けることに 商 **「**粛要請、 工部門も担って 島内の感染 観光客

場 に話を聞いてくれたので、 查 事 上に予想 子業者が 員 い言葉をいただい ての話も聞いてもらいたい、という方が多数 の声を集め アイディアを出 (総出 以 困っていることや要望などを直接伺うことで、 で手分けをしてヒアリングを行 Ŀ 0 時間を要した。 実際には、 すにも、 た。 この まずは 何よりホッとした」など、 教訓は、 私たちが想定してい しかし後日、 現 状把握が必要であ 今後も忘れずに活 なっ がおり、 い た。 「困ったとき 支援 た内容以 この う 施 調 n 現 か 策

ま何 に関する支援を担うことになっ 援できる体制を整えた。 感が重要だと考え、 台となる案を作成した。 町 光定住課では、 が必要でどういう支援ができるのかを協 独 自 の 地域経済対策支援事業を紹介する。 協議回 集めた要望などを一覧表にまとめ、 最終的に同課では、 庁内の協議では、 数 で増やすことで、 た。 本稿では、 支援に 議 四 そのうち二 l, 9 Ļ 0) ち早く支 スピード たたき コロ ナ V

ていきたい

#### 既光業の Ħ は 経営支援と地域商 「宿泊施設等継続 品券 支援給付金」 あ 配

なるので一 0 経営支援策とし 0 来島 町 律支給ではないほうが良 内 タ カー)などに対しては、 自 宿 粛 泊 要請 施設 飲食店に対しては の影響が大きかっ 運 輸 業 (観光・ いとの意見が 事 遊漁船、 業規模が大きく た観 の給付 律一〇 光業や飲食業 光バ あ 万円を給 である。 ス、 異 タ 何

> を根 給付した。 を一〇〇万円として、 拠に算定すれ ば良 定員 11 0) か試行錯誤し (最大宿泊者数や乗 た。 員 結 果的 ×一万円 に上 限

者がわ の額面を 児から高齢者まで全員) となり、 六〇〇〇 島内の店舗 らである。 例えば八 五〇〇円券としたのは、 食欲がわく色であること、 円分配布するものである。 一つ目 を五〇〇円とした。 かりやすくなるとい 핅 の 地域経済にとってプラスの効果になると考えたか ○○円の食事をすると現金三○○ 普段外食をしない人でも、この券をきっ 分の商品券を青色として、 などで使用できる商品券・食事券を、全住民 わがとこ応 を対象に、一人あたり一万一〇 お釣りが出 援 商品券と色分けすることで利 五〇〇〇円分の食事券を赤色、 商品 食事券を赤色に 飲食店を利用するの った理 券・ 由からである。 食事 ないルールであるため それぞれ一枚 ,券発行 円 したのは の追 では 事 加 かけに いあたり が必 な は 11



域経済 た。これこそ とができ、 用者は買い という期 たことに加え、 果的に各店 である 0 %待もあ 循 環を図 全住 物や 民参 応援チケット 舗の 地域みんなで 飲食を楽し 0 ることができ 加型 売 Ŀ 一での が むこ 増え

## 施策紹介をきっかけに島もPR

られ、 市 わ でもいち早く取り組んだことが功を奏し、 民に配布される「応援チケット」である。この事業に全国 マスコミで取り上げられたことで、 ム商品券とは異 一町村にまで広がったと思わ せが来るようになり、「西ノ島スタイル」の支援策 わがとこ応援商品券・食事券」は、 生放送のテレビ番組に筆者が出演することになった。 なり、 利用希望者が申請することなく全住 れる。 他の自治体から問 これまでのプ 新聞に取り上げ が他 ミア 13 合

ピード」の大切さを改めて認識することになった。 細 分間も放映されるなど、 組 る また、 かなアイディアを出し合った結果であるが、「チーム」「ス 閉塞感をわずかながら払拭できた実例となった。 のエンディングで、 れらは、 町独自のコロナ対策の紹介をきっ チーム西ノ島の支え愛、 大山 町のPRにつながり、 隠 岐国立公園 観光定住課が の空撮 か けにテレビ番 コ 勤 口 画 固が約五 団結 ナによ Ĺ

### 弁当購入デーで飲食店を支援

この地域を支える提案に、 と設定し、  $\mathcal{H}$ 月~ 元店舗を応援するプロジェクトが立ち上がった。 0) Ú 七月の か「支え愛」として、 地 元の飲食店で弁当を購入しようというもので、 期間限定で、 町長・副町長・教育長・管理 毎週金曜日を 西ノ島町職 「弁当購入デー」 員 組 合の これは、 発案で、

も賛同し、全員参加となった。

どこの、どんな弁当かな」と、 に嬉しい」との声をいただいた。購入する職員は 事業者からは、「売上が落ちこんでいるの 員も参加。 達してもらう流 参加する が前に 一二店舗へ 弁当の購入希望をとりまとめて、 二カ月間で約一〇〇万円 れで、役場職員のほ 注文し、当日 金曜日が楽しみとなった。 はかに隠岐島ざー個八〇〇円の 1の売上 で プロ につなが 助かる。 前病院の ぜの ジェクトに 弁当を配 一次回は 、った。

# 縁を活かして協力し合う仲間たち

縁を活かして互いの特産品を購入し合うこととなった。 いたのが山形県寒河江市である。コロナのため、両市町とている。今年、同じステージでご当地マラソンを紹介してている。今年、同じステージでご当地マラソンを紹介してらコーナーで、「西ノ島ハーフマラソン」のPRを行なっと祭り東京」の「魅力発見! 全国ご当地マラソン」といと祭り東京」の「魅力発見! 全国ご当地マラソン」とい本町では、毎年一月、東京ドームで開催される「ふるさ本町では、毎年一月、東京ドームで開催される「ふるさ

ホテ ノ島 る機会の あるさくらんぼ 六月下旬に町役場や病院職員などが、寒河江 ルが ?の特産品である「隠岐 購入しキャンペーンで活用してくれることとなっ ない採れたて佐藤錦 「佐藤錦」を八一キロ購入、 のいわがき」を、 の味を楽しんだ。 普段は 寒 河江 の特産品 口にす 内

の特産品交流が山形の地元テレビのニュースで紹介さ

にう

h

しく心

強

島

コ

口 ーナは、

未だ収束する目処も立たず不安は続くだろう。

の暮ら

を

体験

じに

ぜ

び

西

島

#### 寒河汀市と鳥根県が・・ 特産品を贈り支え合う ものすごく喜んで 子どもから大人まで くおいしくいただいた

特産品交流は、山形の地元テレビのニュースで紹介さ

れ、筆者も電話出演した。

 $\mathbf{H}$ 

本

ランニン 理

ブ

協

代

表 1

事

を

務

8

る

が

隠

岐

0)

11 グクラ

わ

が

き旨

0

衝

'n

込

み

を都

市

0

関

係

店

舗

展 作 さ 会

開

こてく

また

ĸ 'n 部 という売

0

ぼ

h

Α

級

でも

あ 0) 町

る ほ 0)

谷 か Р

Ш 本 R Ш

うあきらん

0 大

マ 使

町

0 0

観 な 民

光 が

花なま理

顕き

ざん

が

ヤ

n

る

など、

形

빑

0 0

島

開 ン 設 ij ラ Ήi イン ナによっ アン 自 粛 n シ 0) 中 A まで E r.V 日 家庭 てたくさんできたことは、 わ 0) ッ Ĭ  $\hat{o}$ が 連 プ Κ 合の 3 内 つながりを活 U (https://a-gourmet.jp/shop) で R を 仲間 グ Α 購 ル である島根県邑南 X 0) してメニュ 旅 佐 か 0 藤 した 気分を味わえるよう、 グ 聡 ĺ 社 メの 不幸中 1 長 支え愛」 が 13 まち 町 加えてく を 最 0 0 連 前 大 0 合 计 里 実例 倒 で n イ Щ は ズ イ で オ

能となっ

まで に建 内に 楽し 解決 にも 5 め れ に気づき、 らすことが  $\overline{\bigcirc}$ た大 0) 西 か に改善さ 文援 幅広 は、 み 0 0 何 も多 七 島 西 山 島 か 车 隠 制 ベ 町 助 は Vi ノ は全域 地方 島 年 13 ッ 岐 となることに できる。 都 b 度や子育 開 齢 町 K 国 市 動 数四 特に 立 部と とり 層 コ 館 11 Ĺ が隠岐 3 公 0) 0 7 集 た海 で支援 園 移住 現在、 比 ユ 四 海 11 ニテ 較 か 床 遊 1 0) ニュネ 期 0 が 0 び 島 13 L な 隠岐 場も 朓 得す 目 都 ĺ 制 P て芸 1 で 11 図 8 度 釣 あ Ż を向けることで、 لح 市 ハコ世 経済 É 高前 密 ある。 書 る。 ら ŋ 部 を回避 館 n 充 好きには で る絶 界ジ 生活, 循 など、 実し 病院 小さな島 環は 近 オ 年 好 7 が L する方 でき は 幼 0) あ たまら パ P 11 児 通 口 る。 ŋ だ 1 す 信 か ケ か ク Þ 11 台 5 が 環 移 な 環 5 1 認定 高 ショ 境 0) 住 できる 問 がが ほ 0 題 0) で 幸 大 暮 可 か 町 運

に訪 で子 で 8 海 5 育てし 前 n 囲 での 町 7 4 ほ ず ま 観 島暮 は P 光 n た大自 す 定 8 度、 住 b 13 1 3 1 隠 相 を 確 岐 電 談 体 か 0 8 験 西 中

1967年、神戸市須磨区で生ま れ神戸で育つ。2002年4月に 家族4人(妻と5歳・3歳の兄弟) で西ノ島町へ移住。Iターンの 先駆けとして離島暮らし19年 目。自身の経験から本音で移住 希望者に島暮らしを伝え、町の 公式フェイスブック「隠岐・西 ノ島いいね! など、あらゆる手 段で観光PRも忘れない。本誌 への執筆は今回で4度目。

福間章仁(ふくま あきひと)

7 11 n 7 V お 'n が マ Т ナ 関 連 を 守 なと ŋ,  $\mathcal{O}$ 感染 1) 七 防 1 止 に努 7 1 クも 8